

第1章 図書館ネットワーク研修会

【平成 22 年度 図書館ネットワーク研修会】

日 時 平成 23 年 2 月 10 日 (木)

午後 1 時から午後 5 時まで

会 場 さいたま市立中央図書館 イベントルーム

参加者 66 人

【テーマ】

『Web を使った図書館の新しいサービスを考える』

【講演 1】

演題：「先進的な図書館 Web サービスについて」

講師：野田市立興風図書館 川嶋 斉 氏

【講演概要】

1 はじめに

野田市立図書館の Web サービスの充実を考えたきっかけは、野田市立図書館の職員が思ったより自館の Web-OPAC を使っていなかったもので、どうしたら利用を促進できるかを考えるようになったということだった。

図書館の Web サービスについては、利用者も「この程度」というあきらめ感があり、そういった点から期待度も低い。このような状況を改善するためには、積極的に新たなサービスを展開していくことが重要であると考えた。

現在、8 割程度の公共図書館が Web-OPAC を公開、提供している。



川嶋 斉 氏

Web-OPAC の公開は、2000 年頃に急速に伸び、2005 年にひと段落、現在は横ばい状態となった。

各公共図書館が HP を公開するが、概ねどの図書館も利用案内やアクセスガイドが公開されているものの、図書館がどのような公共施設であるかという定義は記載されていない。

また、それ以外の Web 上のサービスとしては、配布物の PDF、活動紹介、資料紹介、郷土資料、リンク集等の自前のコンテンツを提供している。

しかしながら、図書館は基本的に購入した資料を提供しているのだから自前にこだわる必要があるのかと言う疑問が生じた。そして、国立国会図書館や Google 等の外部サービスを Web 上に上手く取り込むことで、利用者が当該資料へアクセスする事が容易になるのであれば、それ自体に価値はあるのではないかと考えた。

2 外部情報活用の事例紹介

(1) 新着雑誌記事索引（結城市）

国立国会図書館と Fujisan. co. jp の RSS を利用して記事を提供し、表紙画像は、Fujisan. co. jp の情報を利用して提供している。

結城市は、ソースコードも公開しており、入門編としては最適なのではないだろうか。

(2) 結城市関連論文ナビゲーター

CiNii の「結城」というキーワードの検索結果 RSS を利用して該当する論文を表示する機能を提供している。

(3) 広島市立図書館

Google から図書館に関連したニュースを利用して、HP 上に表示する。

レファレンス協同データベースの新着情報 RSS を使用し HP 上に表示する。

PORTA を経由して、青空文庫に含まれている資料を紹介する。青空文庫で公開されている本で、広島市立図書館未所蔵資料を利用者に提供することが可能となる。

(4) 青森県板柳町民図書館の Web-OPAC

資料の表紙画像の表示されている OPAC で、GoogleBooksAPI を利用して

表紙画像を提供している。利用者が資料の評価を入れる機能も付いている。

他にも GoogleMap を利用しているものなど、他者の持っているコンテンツを利用している図書館は色々あり、これからの図書館職員はそれらを上手に利用者に提供するしくみを考えて行かなくてはならない。ただし、権利関係について注意を払う必要がある。

例えば、天気予報や地元新聞社のニュースなど RSS で提供はされているが、自身の HP 上で公表するのは権利の侵害に当たる場合がある。

現在の Web-OPAC のように単に公開された蔵書目録だけでは、既に情報不足となっている。図書館で取り扱うコンテンツを総合的に検索するツールとしての Web-OPAC でないといけない。

そのためには、利用者のニーズに応じて自館資料だけではなく、自館の HP 上のコンテンツや未所蔵資料等も網羅的に扱えなくてはならない。但し、未所蔵資料の購入等については、あくまで図書館の確固たる判断が必要である。

そのためには、プログラムや API を利用して、一つの検索窓から複数の資料や媒体、例えばパスファインダーなども検索がかけられるようなサービスが今後は必要になる。

知識と人をつなぐ図書館として、ツールとしての Web サービスの今後を考える必要がある。

3 野田市立図書館での取り組み

野田市立図書館は、Web 予約が月平均 9,000 点程度、結果としてリクエストは倍に 2007 年から Web 予約が来館予約を逆転した。

そもそも色々な事を始めたのは、研修先で結城市の事例をはじめとしたいろいろなものを紹介され、実際に作って発表させられることがあり、手始めに、新着雑誌記事索引を真似て作ってみた。

次に作ったのは、「地域&図書館ニュース紹介」で、自分の所属している自治体のサイトなど、図書館が選定したサイトの RSS を取りまとめて提供してみた。

同じように広島市・潮来市の影響で、GoogleNews も入れてみた。

このように、月に1本くらいのペースで新たなプログラムを作成、発表しているが、これは、私がソースをきちんと書いていないと書き方を忘れてしまうため、忘れてしまうと、思い出す・調べ直すのには大変な労力と時間がかかるためということもある。

最近では、「Web-OPAC+」として、Web-OPAC からさまざまな外部情報に接続する仕組みを提供している。Web-OPAC 自体はベンダーとの契約で勝手に変えられない上に、業者に個別対応してもらうのは難しいため、Web-OPAC を JavaScript でデコレーションすることを考えた。リンク先には、国会図書館の研究・ナビなど図書館らしい情報源選んだ。

他にも、返却や新規登録などで資料状態が在架になった資料を、バッチの自動実行と JavaScript を利用して処理日時の新しい順に最大で400件表示させる「在架なう！」を作成したり、検索エンジン向け資料リストとして「所蔵目録（ISBN 未入力分）」を作成し、資料情報を検索サイトに提供して自館の HP への導線としたりしている。「在架なう！」に表示される資料は、結果的にその時の話題の本が反映されることが多い。

4 おわりに

図書館 HP での外部サービス活用事例は少なく、まだ正解は分からないので、外部のサービスとの組み合わせは、とにかく試してみるしかない。

まずはベンダーのいいなりでなく、図書館が主体になってサービスを考える。

その際は、どんなものがあるのかなど難しく考えず、自分達で使って便利なものをつくることから始めたらどうだろうか。図書館員の言う「利用者の視点に立つ」は往々にして、利用者の能力を低く見積もりがちで、結局、図書館員にとって便利な Web-OPAC は、利用者にとっても便利なことが多い。

ネット上でサービスするという事は、ネット上にある他のサービスを使いながらサービスできる、ということでもある。

カーリルが「Amazon」と「Web-OPAC」を組合せて、自前のデータがほとんど無いにもかかわらず、高い評価を得たように、ネット上の情報を再構成して、新しい価値を生み出すことが可能である。

また、ネット上の新しい仕組みを活用することで、思わぬ便利なものを作れ

ることもある。

そういう今生まれつつある便利なものを活用していくことで、図書館の新しいWebサービスというものが出てくるのではないかと思う。

先進的な図書館 Web サービスについて

野田市立興風図書館 川嶋

図書館の Web サービスの推移

「日本図書館協会」より

公共図書館 Web サイトのサービス: <http://www.jla.or.jp/link/public2.html>

「CyberLibrarian 図書館員のコンピュータ基礎講座」より

インターネット関連年表: http://www.asahi-net.or.jp/~ax2s-kmtm/ref/i_history.html

外部情報の提供事例

NDL や NII、Google などからさまざまな API が提供され、活用する図書館も出ている。

◆ゆうき図書館

新着雑誌記事索引 : http://lib-yuki.city.yuki.lg.jp/room_ad/sokuhou/main.html

同マニュアル : http://lib-yuki.city.yuki.lg.jp/room_ad/manu.pdf

結城市関連論文 : http://lib-yuki.city.yuki.lg.jp/dougu/ronbun_navi.html

同マニュアル : <http://lib-yuki.city.yuki.lg.jp/dougu/ronbun-manu.pdf>

◆広島市立図書館 : <http://www.library.city.hiroshima.jp/>

Web 文学資料室 : <http://www.library.city.hiroshima.jp/special/web/aozora.html>

◆板柳町立図書館 : <http://www.town.itayanagi.aomori.jp/library/index.php>

GoogleBookSearchAPI による表紙画像の提供

(その他、横芝光町立図書館の「情報ティッカー」など)

Web-OPAC も蔵書検索だけでなく、より広い範囲を検索できるものへと変わってきている。大学図書館においては Webcat を検索できるのは当たり前。

◆九州大学附属図書館

きゅうと OPAC : <http://opac.lib.kyushu-u.ac.jp/opac/>

◆佛教大学図書館

佛教大学図書館サーチ β 版: <http://bulib.bukkyo-u.ac.jp/docs/libportal/search/>

通常は佛教大学図書館ポータル (Summon) :

<http://bulib.bukkyo-u.ac.jp/docs/libportal/libtop.htm>

他に慶應義塾大学メディアセンターの KOSMOS (Primo) などがある。

公共図書館の中でも、蔵書以外の情報源へのアクセスを提供する Web-OPAC が見られる。

◆市川市立図書館: <http://www.city.ichikawa.lg.jp/library/>

蔵書検索で青空文庫の検索が可能。

◆成田市立図書館 : <http://www.library.narita.chiba.jp/>

レファレンス事例や、電子情報 (リンク集) など一括して検索できる。

『動向レビュー: ディスカバリ・インターフェース (次世代 OPAC) の実装と今後の展望』
 カンレントアウェアネスポータル No. 305_CA1727: <http://current.ndl.go.jp/ca1727>)

野田市立図書館の事例

■野田市と野田市立図書館の概要

野田市： 人口 15 万 7 千人 千葉県の西北端に位置する。

図書館： 市内 4 館 本館（興風図書館）のみ直営、他 3 館は指定管理者を導入。

蔵書総数:56 万点 年間貸出点数:110 万点

年間予約点数:15 万 2 千件 年間ネット予約点数:9 万 5 千点

■作り始め

ゆうき図書館の事例を参考に「新着雑誌記事速報」

「新着雑誌記事速報」の改造版+GoogleNewsAPI で「地域&図書館 News 紹介」

○Google ニュースバーを作ってみる

ウィザード: <http://ajax.appspot.com/gmaps-samples/simplewizard/newsbar.html>

■web-OPAC+

Javascript で Web-OPAC をデコレーションする。

リンクボタン表示

- ・「想-Imagine Book Search」
- ・「千葉県内図書館横断検索」
- ・「リサーチ・ナビ」
- ・「PORTA」
- ・「WebcatPlus」（書誌詳細画面に表示）
- ・「カーリル」（書誌詳細画面に表示）
- ・「新聞・雑誌総合目録検索（千葉県立図書館）」（CiNii 論文検索経由）

API 経由

- ・「GoogleAjaxSearchAPI（Google ニュース）」
- ・「CiNii 論文検索 API」
- *以上は、サイト上に情報を取り込むために、GoogleAjaxFeedAPI を経由して使用
- ・「NDLSH」（分類番号から類似書を検索する際に使用）

■在架なう！

バッチの自動実行（タスク）と Javascript で、自動で更新されるコンテンツを作る。

「棚に並んだ本」のリスト、ウェブ上に置いた配架用ブックトラックのイメージ。

（『資料状態が「在架」の本を処理日時の降順に 400 件出力』というバッチを 30 分毎）

結果的にその時の話題や、季節を反映したものが表示される場合が多い。

テクニカルな話（用語解説）

◆API(Application Program Interface)

外部のサイトなどから情報源にアクセスする仕組み。

GoogleAjaxFeedAPI のように他の API と組み合わせて使えるものもある。

国立国会図書館がすごい勢いで提供中。

(PORTA・国会図書館サーチ・NDLSH・レファレンス協同 DB など。)

◆Javascript (Ajax)

ブラウザとメモ帳さえあれば始められるので、元手いらず。

サイトで公開する時も、サーバの設定は不要。

古くからあるプログラミング言語なので、図書館に本が多め。

また、簡単に使える仕組み「フレームワーク (prototype.js や jQuery.js)」や、フリーで公開されているプログラムも多い。

◆RSS (略語はバージョンなどによって異なる)

サイトの更新情報などを記述する書式。xml の一種。

API の中には RSS で検索結果を返すものもある。

GoogleAjaxFeedAPI を使うことで、他のサイトでも表示できる。

国立国会図書館が発行している

「雑誌記事索引 RSS」「レファレンス協同 DB 新着」「新着図書情報」などは活用できそう？

図書館 Web サイトの外側で

Amazon のデータと Web-OPAC の組合せで、より便利に視覚的に検索する仕組みが民間から出てきている。

カーリル : <http://calil.jp/>

Libron : <http://libron.net> (現在はカーリル API を使用)

*Amazon で取扱いがあり、ISBN のある資料しか調べられない。

図書館としても、より Web-OPAC に到達しやすくする工夫が必要。

例えば、

- ・検索プロバイダや、検索アクセラレータといった仕組みを積極的に活用する。
- ・Web-OPAC の中も検索エンジンでクロールできるようにする。

など。

付録：検索プロバイダを作る

1. 条件

「簡易検索」など、検索窓が一つだけで検索できる仕組みがあること。

2. 実験ファイルの作成

「簡易検索」のあるページを、「名まえを付けて保存 (A) ...」から、「Web ページ、HTML のみ」で保存。

3. ファイルの修正

テキストエディタ（メモ帳など）で開く。

簡易検索の FORM タグを探す。（[F3]で検索を開き” <form”などで検索すると早い）
例のように 2 か所を書き換える。

野田市立図書館の場合

```
<FORM NAME="SIMPLE" ACTION="OPP1400" METHOD="POST">
```

これを以下のように変更する。

○ACTION の内容をグローバルアドレス（http から始まるアドレス）に。

○METHOD が POST と書いていたら、GET に。

```
<FORM NAME="SIMPLE" ACTION="http://www.library-noda.jp/OPP1400" METHOD="GET">
```

4. 検索テスト

出来たファイルをブラウザで開く。（表示が崩れるかも？でも気にしない）

簡易検索窓に適当な文字を入力して検索。

検索できる ⇒ 検索プロバイダ作成可。

検索出来ない ⇒ 作成ツールは使えない（作成できる場合もあります）

5. 検索プロバイダの作成（検索出来た場合）

公式作成ツール <http://www.ieaddons.com/jp/createsearch.aspx> を使う。

i. 簡易検索窓で「TEST」と半角で入力し、検索を実行。

ii. アドレスバーの内容をすべてコピーして、[URL:]へ貼りつけ。

iii. Name に「〇〇図書館検索」など、名まえをつける。

iv. 文字を符号化する、で WebOPAC で使われている文字コードを選ぶ。

（WebOPAC が表示されている時に「表示」から「エンコード」を選ぶと確認できる）

v. ビューXML をすると作成されたアクセラレータが確認できるので、

「名まえを付けて保存(A)...」でフォルダの種類を「XML」で保存する。

6. 検索プロバイダの設置

```
<input type="button" onClick="window.external.AddSearchProvider('[ファイル名]');"  
value="「〇〇図書館検索」を追加">（1行で書く）
```

という行を、ボタンを表示する html ファイルの表示部分に挿入し、できた XML ファイルを同じフォルダの中に設置すれば完成。

まずは自分たちで使ってみると良い。